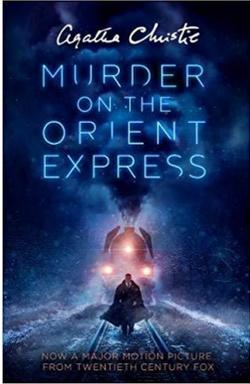


青緑の生徒のみなさんへ



～英語科より「多読」のススメ～

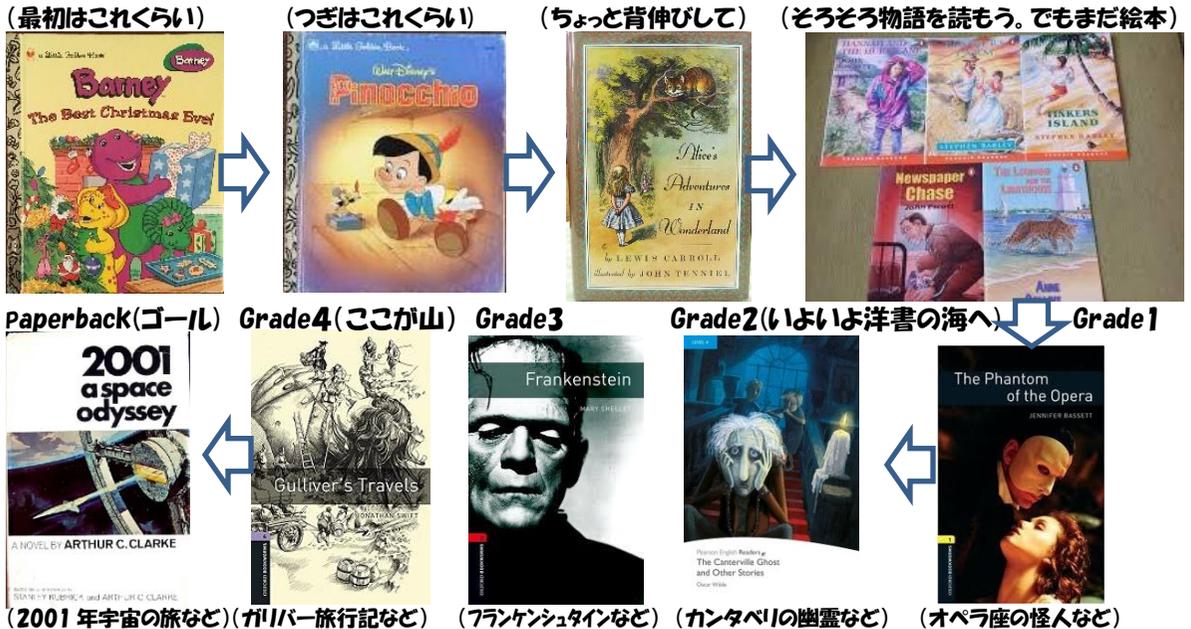
(卒業までにクリスティが原書で読めるようになるのを目指そう!)



新学期が始まりました。今年も「多読コーナー」を大いに利用して欲しいと思います。少し配置変え、みなさんが手に取りやすいようにしています。また、種類や作家ごとに分けています。ケンダーからマンガも寄贈してくれています。是非、好きなシリーズを見つけて、たくさん読んで欲しいと思います。(手に取ったら、元の場所に返却をお願いしますね。)

1.「多読」って何?

一言で言うと「子供が読むような易しい洋書を、辞書を引かずにひたすら数多く読むことから始めて、段階的に難易度をあげ、最後は一般書も読めることを目指す」という勉強法です。図で示すと、こうなります。



*最初は絵本からで十分です! ここには、星マークの「RIGBY STAR」とイルカマークの「Dolphin Readers」があります。Let's Try!!

2.なんで「多読」なの？

○ススメル理由

- ①好きな時に、自分のレベルに合わせて、自分のペースで読書できる。
- ②「好きなもの」「面白いと思ったもの」を読めばよいので、「つまらない」と思ったら、すぐにやめて、別の本に移ることができる。
- ③「毎日、少しでも英文を読む」という習慣が大きな力になる！！

○その効果

- ①英文を日本語にすべて訳そうとせず、読めるようになる！
⇒速読力に繋がる。
- ②単語や熟語の定着や維持ができる！
⇒単語を単調に覚えるだけではすぐに忘れますよね。大切なのは、「読んで」、「聞いて」、「書いて」、「身に着ける」ことです。
- ③様々な英文に触れることで、要点を掴む力、表現する力(書く・話す)、聞く力が次第に増す！
⇒受験勉強にもつながります。
- ④英語をよむことが苦痛でなくなる(これが一番大事！)

英語を修むる青年はある程度まで修めたら辞書を引かないで無茶苦茶に英書を
沢山読むがよい、少し解らない節があつて其処は飛ばして読んでいってもドシドシと
読書していくと終いには解るようになる。
夏目漱石『現代読書法』

3.「多読」のルール

- ①読みたい本を自分で選ぶ
*借りるときは、必ずファイルの「貸し出し簿」に記入して、期日を守って返却してください。(「多読」貸し出しのルールを読んで下さい)
- ②辞書を引かない
*日本語に訳すのではなく、英語でなんとなく意味がわかることが大事です。
- ③わからないところは飛ばして読む
*1ページ当たり辞書を引かなくても7.8割意味が理解できそうなものを選べばいいということです。
- ③「つまらない」と思ったら、別の本に移る
*せっかく「自分自身でやる勉強」です。楽しい、面白いを大事にしましょう。



We wish you enjoy "Extensive Reading" and find a new world!